

# 緊急稲作情報

## 高温・渇水・胴割れ 注意

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成：福井県農業試験場、福井米戦略課、J A 福井県中央会]

本年はこれまでにない高温と降水量が極めて少ない状況が続いており、気象庁の予報では今後も**高温**と**少雨**が続く見込みであり、水稻の**品質低下**や**収量減少**が懸念されます。

暑い中での作業となりますが、**地域での計画的・効率的な水利用に努め、****間断通水など適正な水管理、適期収穫、適切な乾燥作業**を行いましょう。

特に**ハナエチゼン**は、出穂してからの気温が平年よりかなり高く、胴割れしやすくなっているため、**胴割米発生注意報**を発令します。また、ハナエチゼンはこれまでで最も早い出穂期となっているため、**収穫適期も早くなる**ので、収穫計画を再検討をしましょう。

大豆は、1週間以上降雨が無い場合、葉が裏返る前に畝間灌水を実施しましょう。

### ○渇水時の栽培管理

天気予報や地域の配水計画を確認した上で、**入水を優先し、圃場を乾燥させない。**

### ○胴割米の発生防止対策

- 1) **収穫直前まで間断通水**を徹底し、早期落水は控える。  
ただし、十分な水が無い場合は、上記の渇水時の栽培管理を実施する。
- 2) 台風通過等でフェーン現象が発生するときは、フェーン現象が収束するまで、深水管理などを行って水を絶やさないようにする。
- 3) 籾水分25%よりやや早めに収穫を開始し、**刈り遅れを防止**する。  
ただし、農薬の使用基準（使用時期：収穫何日前まで）を厳守する。
- 4) 収穫後はすみやかに乾燥機に張り込む。また、**高温での乾燥を避け**、水分が18%程度で一時休止し、調湿させてから仕上げ乾燥する。
- 5) 乾燥は**14.5%～15.5%を目標水分**とし、穀類水分計で水分を確認する。
- 6) 一時保管や運搬時に、乾燥調製後の玄米に直接日が当たらないようにする。

※「稲作情報」で農業試験場の籾水分を参考にする

### ○斑点米カメムシ類の注意報 発令中

中生品種・晩生品種の適期防除を徹底する。



水不足で枯れた稲



稲作情報



斑点米カメムシ類の注意報

### ○高温の影響

- 1) 生育が早まる
- 2) 胴割粒や乳白粒などの白未熟粒が増える
- 3) 小粒化や不稔で収量が低下する
- 4) 斑点米カメムシ類の活動が活発になる



胴割粒



白未熟粒